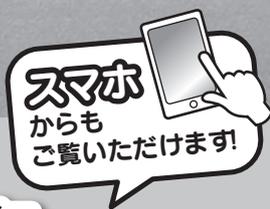


ぎくかい



2022.10.17

小国町議会だより 第154号



表紙関連記事は16ページ

令和3年度 決算認定

主な内容

- 議員と語る会 2ページ～
- 臨時会・定例会 4ページ～
- 各課決算審査 6ページ～
- 一般質問 6名登壇 10ページ～

議会議員と語る会

📎 日程等
6/25

につこリンク
(東部地区にできた新しい形の
地域の課題を考える組織)
テーマ「地域運営の現状と課題」
出席議員 小関和好 渡邊重信
安部春美

📎 日程等
6/21

**特定非営利活動法人
おぐにスポーツクラブYui**
テーマ「生涯スポーツの
現状と課題」
出席議員 柴田伸也 今 康成
遠藤和彦

📎 日程等
6/20

黒沢峠敷石道保存会
テーマ「地域行事の現状と課題」
出席議員 小林 嘉 伊藤弘行
間宮尚江

小国町議会では地域課題を把握し、町政に反映すべく「議会議員と語る会」を開催しております。今年度は、地域行事、生涯スポーツ、地域運営に関して三団体から現状と課題をお聞きしました。いただいた意見は、担当課に報告をし、今後の議会提言に反映していきたいと考えております。主なご意見等をお知らせします。



主なご意見

- 黒沢峠の活用は「お祭り」ありきではない。多くの方に歩いてもらえるように保全活動を行っている。
- 大型バスの通行が可能となるよう道路拡幅をお願いしたい。
- 黒沢峠を活用する上では、町指定文化財より県指定文化財、県指定文化財よりは国指定文化財の方がいい。
- 中学生や高校生、一般の方など幅広く保全活動に協力してもらう仕組みづくりが必要だ。
- 黒沢峠を核に、ワラビ採り等を絡め、町内に泊まってもらうようなプランがあれば町のためにもなると思う。
- 多くの方に黒沢峠の魅力を知ってもらうため、PRビデオをつくり観光施設やアンテナショップで流したらどうか。

黒沢峠敷石道保存会
黒沢地区を中心に黒沢峠の保全活動と「黒沢峠まつり」の開催やPR活動を行っている。



主なご意見

- 男性参加者の確保が課題。参加しやすい教室を考えているが、参加者が増えない。
- 体育館のトレーニング室は、男女問わず利用者が増えている。
- 本年度から、高校生の居場所づくりを目的とした「フリーダム」という活動を行っており、参加者も増えている。
- 部活の地域移行については、地域指導者の状況を考慮しながら進めていくべき。
- 町民体育館の外装工事は終了したが、内部も老朽化が進んでいる。利用者の安全性を確保するためにも改修が必要だ。

特定非営利活動法人
おぐにスポーツクラブYui
 指定管理者として「町民体育館」「あいべ」の管理運営を担っている。また、ダンス・ヨガ・ウォーキングなど健康増進のための企画等も行っている。



主なご意見

- 除雪も活動のひとつだが、10年後は除雪のできない家が増えて「にっこリンク」だけでは間に合わなくなりそうだ。
- 冬期間は、高齢者が外に出られず孤独になってしまう。
- 人が少なくなっているので伝統は守りたいが、以前と同じやり方では難しいと思う。
- 移住者だけでなくUターンの方の支援も充実するべき。
- 移住者支援策の周知方法をもっと考えるべき。
- 高齢者世帯のゴミ収集を戸別にまわれないものか。
- 行政は、町民の提案にもっと建設的な対応を望む。

にっこリンク
 東部地区を中心にレクリエーションの企画、地域や高齢者の困りごとにも対応している団体。東部地区振興協議会ともリンクしているが、新しい形の地域組織である。

(撮影時のみマスクを取っています)

豪雨対策 二度の臨時会開催 生活を守る予算措置に合意

8/3、4豪雨

6/27豪雨

議会の流れ(6月定例会以降)

9/2~定例会

8/25臨時議会

8/4臨時議会

主な補正予算

8/4臨時議会主要内容(補正総額1億1526万円)

◆災害復旧

土木施設復旧測量設計等……………1億305万円

8/25臨時議会主要内容(補正総額2億9794万円)

◆災害復旧

災害廃棄物収集運搬……………80万円

道路橋梁維持……………1366万円

農業施設復旧……………3750万円

土木施設復旧測量設計等……………4362万円

農地農業用施設災害復旧……………4288万円

井の下頭首工災害復旧工事等……………1581万円

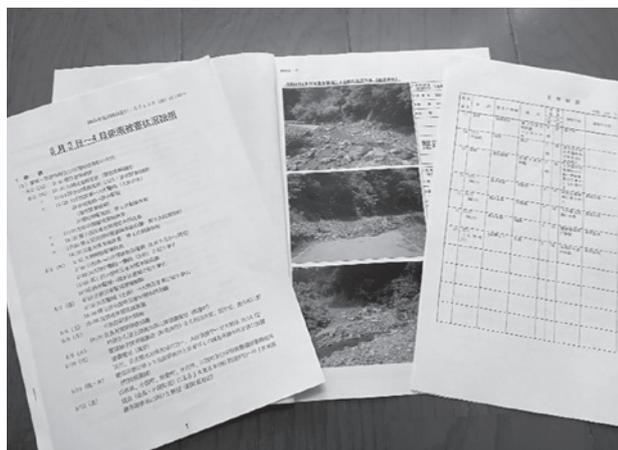
除雪センター応急仮工事等……………1074万円

簡易水道応急復旧等……………434万円

下水道応急復旧……………7430万円

臨時会 あらまし

豪雨被害の復旧を行うための臨時議会となった。6月の災害復旧がなされている中、8月3日から降り続いた羽越水害に匹敵する降雨量により町全域に甚大な被害が発生した。豪雨被害に対する様々な対応が進んでいる。



担当課から豪雨の被害状況の説明を受ける

◆財産取得

消防車両 1029万790円

株式会社長谷川ポンプ製作所

代表取締役 長谷川順一

その他案件

9月 定例会

生活支援クーポン券配布 一人3000円

主な補正予算

主な内容(補正総額3億3470万円)

- ◆ **福祉**
老人保健施設事業会計負担金 ……………5150万円
- ◆ **歴史資料館整備**
旧やまなみ寮解体工事 ……………229万円
- ◆ **商業活性化**
頑張るお店応援クーポン券 ……………2109万円
- ◆ **創業応援**
創農チャレンジ応援事業(対象者1名) ……………60万円
- ◆ **安全な暮らし**
町道維持修繕及び除排雪業務 ……………6629万円
町営住宅あけぼの団地
小坂町団地火災報知設備等更新 ……………594万円
- ◆ **全国表彰**
スポーツ協会団体個人の全国表彰 ……………23万円
(滋賀県開催)

9月 定例会 あらまし

9月2日から14日において令和4年度9月定例会が開催され、令和3年度の各会計決算12件は認定された。その他、補正予算8件・条例案件2件を承認し人事案件1件を同意した。
一般質問は6名それぞれが調査を踏まえて町執行部と議論を交わした。

この度に関り断水等に
より自宅での入浴が困
難な方が町内の温泉を
利用した時の入湯税を
免除した

◆ **主な条例制定**
令和4年8月3日か
らの大雨等による災害
に伴う入湯税の課税の
特例に関する条例の設
定について

人事案件

教育委員会委員
伊藤 優子 氏(再任)
小国町大字北
任期
令和4年10月1日から
令和8年9月30日

ちよこつと解説

問 補正のお金はどこから来るの？

答 定例会、臨時議会では主に当初予算の過不足部の補正を行います。不足分については自己財源のほか、使用目的に沿った国、県からの補助や借り入れによって補われます。
この度の補正予算には庁舎システムの改善、新型コロナウイルス対策関連、消費喚起を目的とした交付がありました。

決算審査特別委員会質疑応答

令和3年度決算を賛成6反対1



間宮尚江委員を委員長とし、高野議長、小関監査委員を除く8名の議員で決算特別委員会が行われた。
議員それぞれの知見の中で、予算の執行と成果についての質疑が行われた。
※主な内容を掲載

総務課

Q 温水造成供給事業について、重油の使用料が依然として高いが当初計画との比較は。

A 使用量は令和2年度比28000L減となっている。使用料については油価格や降雪の状況により毎年変動する。昨年度は、降雪の状況を見て機械除雪に切り替えるなどのコスト削減を行った。システム能力については当初計画で想定したものよりも経年劣化がすすみ下がっている。

また、針葉樹チップに加え広葉樹チップを混合することにより、カロリー量が増加するなどの試みも行っている。なお、含水率の課題もあるが、これまでの稼働経験を活用している。

総合政策課

Q 地域資源域学連携事業の成果は。

A 地域の課題を地域の人と考え、一緒に取り組む事業として定着してきている。

早稲田大学では平成25年から「いぐべおぐに」という公式サークルが立ち上がり、小国町のためにできるこ



新潟大学生の活動の様子



山大生協にあるレシピ冊子

とを目的として活動している。新潟大学では、「ダブルホーム」というプログラムのもと、チームとして南部地区を中心に活動している。山形大学では地域ファシリテート実践演習で小国町に携わった学生による「ざっこくっく」というレシピ冊子を生協に置いて雑穀の情報やレシピを発信している。

町民税務課

Q 小国町での不法投棄の現状は。また、町民が不法投棄を見つけた場合の連絡先は。

A パトロールを実施しているが、不法投棄はなかなか減らない。

小国町では年間2、3件発生しているが、役場職員で回収可能なものは直接処分している。また不法投棄が続く場所には看板を設置している。

見つけた場合は警察署や町民税務課に連絡していただきたい。



不法投棄の罰金刑を知らせる警告看板

産業振興課

Q 新生「アスモ」事業化構想策定事業はどのような方向に進んで、どのようなことを改善し何を進めたか。

A アスモを商業施設だけでなく、例えば子育て支援センターなど公的な施設を入れて運営が可能かどうかを検証するため、いきいき街づくり公社が主体となって、コンサルタントに業務委託して報告書をとりとまとめたいただいた。

報告書の内容としては、商業機能・※ビジネスインキュベーション機能・コミュニケーション機能を持ち合わせた施設としてレイアウト変更も含めた報告書が出されたが、様々な課題があり方向性も定まっていないうだ。必

要な場面で議会に説明をしながら進めていきたい。

※ビジネスインキュベーションとは：事業の創出・創業を支援するサービスや活動

健康福祉課

Q 人工透析患者送迎事業(2388万円)アルソック山形(株)への委託料が変動している。委託契約の内容、積算方法について聞きたい。また、運転手や患者からヒアリングを行い安全安心な運行に努めているか。

A 委託契約については、運行時間、運行台数から積算している。「透析患者の会」がコロナ禍により開催できないため、意見交換をする機会がないが、年

訪問看護ステーション

Q 訪問看護事業について、高齢者世帯や一人暮らし世帯が増加傾向のなか、ケアプラン作成の需要が増加していると思われる。どのような対応をしているのか。

A 現在専任のケアマネ2名に加え資格を有する看護師が兼務し対応している。小国町は移動距離が長く時間がかかるため負担も大きい。今後人数が増加していく事があれば増員を検討する。

決算審査特別委員会報告書【要旨】

9月2日、本委員会に付託された「令和3年度小国町各会計決算」について5日、6日及び7日の3日間にわたり、関係課長等の出席を求め審査を行った。

令和3年度各会計決算12件について、3つの意見を付し、認定すべきものと決したので、小国町議会会議規則第41条の規定により小国町議会議長に報告する。

- 1 町内に向けた経済対策としては、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けている飲食店や宿泊業者向けを含む各種支援が行われるとともに、全町民に対してはクーポン券配布などの消費喚起がなされた。コロナ禍の収束が見通せないなかで、国はウィズコロナ・アフターコロナを見据えた対策に路線をシフトしており、それらにしっかりと呼応しながら、町独自の施策を加えることにより、疲弊する町民や町内業者に対する力強い支援を期待する。
- 2 移住・定住を促す事業として、マルチワークの導入に向けた組合設立の支援が行われた。少子高齢化・人口減少が進む本町において、人を呼び寄せる各種の対策は重要な柱に位置づけられている。過疎地域を抱える自治体が同様の取り組みを行うなかで、他自治体と共通するあるいは異なる環境を見極め、近隣自治体との連携も視野に入れながら、効果的に事業を推進していくことを求める。
- 3 町内事業者の商品展開力・販売力の強化を図るため、販路開拓に取り組む事業者に対する支援が行われ、専門サイトを活用したふるさと納税も順調に伸びている。地元商品の流通拡大の取り組みは、「白い森まるごとブランド構想」の根幹をなすものであり、コロナ禍の下でも収入の安定確保につながる重要な役割を担っている。今後も全国的な需要の変化等を敏感に捉え、さらに流通力を高めるための事業展開を望む。

決算審査特別委員会
委員長 間 宮 尚 江

小国町議会議長 高 野 健 人 殿

総務厚生常任委員会



6月定例会以降9月定例会までの間、所管する各課の調査を行った。

特に新型コロナウイルス感染症対策・ワクチン接種に対して継続して協議している。

● **移住・定住、マルチワーク事業について**
「いななか暮らしフェア」には9名の相談があった。



全国に向けて発信中

広聴広報常任委員会



● 広報「ぎかい」153号の編集・発行

● 町民と語る会の開催3団体（P2、3）

● 高校生と語る会開催の準備

● 山形県町村議会議長会主催広報研修に参加
小国町の議会だよりのクリニックを受けた。

文教産建常任委員会



6月定例会以降9月定例会までの間、所管する各課の調査を行った。

● **6月27日豪雨における被害状況についての把握、確認**

● **8月3日豪雨における被害状況の把握、確認**

● **令和4年度除雪工区の変更に伴う調査**

● **旧温泉健康館ゆくの活用状況について**
10月中旬稼働を目標に整備が進んでいる



災害時に避難させた除雪車



令和4年7月14日参加 山形市での広報研修のようす

- おぐに保育園閉園に伴う職員処遇、転園園児への配慮は
- 学校給食における地産地消の推進は
- ジェンダーレス制服・水着の導入についての見解は

ま みや ひさ え
問宮尚江議員



● 閉園後の職員処遇は

問宮 保育士の資格を有する人は、子育て支援には重要な人材であるが、閉園後の職員の処遇及び、転園する園児や保護者へのきめ細やかな配慮は成されているのか。

丁寧に対応しつつ

町長 保育士は子育て環境を確保するうえで重要な人材である。保育園長には、民間保育園体制状況も踏まえ職員、会計年度職員と随時面談を行っていると考えている。

また、転園先の園児との体験交流会や、転園先の園児服や帽子は全額補助している。締めくくりの一年が園児、保護者にとって思い深い素晴らしい年になるようスムーズな転園に努める。

● 地産地消と成果は

問宮 地産地消という視点から、学校給食の食育、推奨をどう捉えていくのか。

給食による教育的効果

町長 給食には、まともな数量、一定の規格を満たす食材を確保する必要がある。学校においては小国ならではの食材を提供して、小国の食文化を学ぶ機会を設定している。

生産される側は安心、安全な食材を提供する心、子ども達は偏食の改善と感謝する心、相互に心の豊かさが醸成される。今後給食における地産地消の魅力に触れる機会を継続して設定していきたい。

地産地消に取り組みましょう!



地産地消コーディネーター配置と設備充実を

問宮 第三次食育推進基本計画策定中であるが食育の位置付けは重要だ。※地産地消コーディネーターの人材育成、規格外の食材が調理可能な設備の導入の充実も重要である。

● 制服・水着は機能面も考慮を

問宮 ジェンダーへの配慮が求められる社会になってきている。また、制服においては機能面見直しが必要であり、水着では思春期における肌の露出は心の負担にも繋がるのではないかと。

町長 今後、学校現場において性別による差別や偏見をなくし、すべての女性と男性が対等に権利・機会・責任を分かち合える社会を目指す。

※「地産地消コーディネーター」
学校給食の現場と生産現場のニーズや課題を調整する人材。農林水産省では派遣や育成を行っている。文部科学省も推進。



高齢者世帯のごみ出しを何とかしないと

こ せき かず よし
小 関 和 好 議員

高齢者世帯のごみ出しは大変な作業

小関 現在、小国町の高齢者世帯は、900軒を越えると聞いています。時代が変われば行政サービスも変わっていかねければならないと考える。高齢者にとってごみ出しは大変な作業である。冬場などはなおさらである。各地域の状況を把握し、対策を講ずるべきと考えるが町長の考えを伺う。

地域からの取り組みに合わせて検討してほしい

町長 本町における65歳以上の高齢者世帯は990世帯で、このうち75歳以上の1人暮らし世帯は、248世帯に達している。高齢者世帯における生活上の課題は、除雪の問題、通院・買い物などの移

動の問題、ごみ出しや電球の取り替えなど生活上の細々とした問題も多く、困っている世帯があることも承知している。

地区のごみステーションに運ぶ事が困難な家庭も増えており、対応の検討が必要となっていることも新たな課題として認識している。

現在、介護保険対象者に対しては、有料でヘルパーやシルバー人材センターによる、ごみ出しを含めた日常生活の支援サービスも利用しているが、少数の利

用にとどまっている。ごみステーションについては、各地区の衛生組合や自治会、隣組など、それぞれの地域で管理している。町としても、こうした地域からの相談や取り組みに合わせて検討を進めていく。

衛生組合の今後も考えるべき

小関 衛生組合単独の活動は、難しくなってきた。地域運営組織に組み込むべきではないか。

また、ごみの収集に関して、民生委員が

認められた高齢者世帯に限り個別収集ボックスの設置も検討していただきたい。

町長 先進地の取り組みを参考に検討する。



高齢者へのサービス向上が求められている

●豪雨災害による 米坂線被害状況は ●水道インフラの復旧見通しは

今 康 成 議員



●米坂線の復旧見通しは

今 置賜地域から新潟県下越地域を中心とした豪雨災害で米坂線が甚大な被害を受けた。沿線の自治体は早期の復旧に向け要請を行っているが、現時点での見通しはどうか。
また、小国町内の被害状況はどうか。

現時点では述べられない

町長 大雨の影響で隣接する飯豊町や関川村、村上市において被害が大きく、全線で百力所以上の被災箇所が確認されている。町内でも流木等の堆積、トンネル内への土砂流入、路盤流出などの被害が発生している。

JRの説明では、復旧について、今後同様

の被害が発生しないようにするための河川整備、土砂流出を防止する治山の取り組みなどが全体的な災害防止対策が必要で、見通しは具体的に言えないとのことだ。
今後も必要な要望活動や関係機関への働きかけを行っていく。

●飲料水の安定供給は自治体の責務

今 豪雨の際、簡易水道と下水道施設で被害を受けたが上水道設備は被害を受けなかったのは幸いだった。
飲料水の安定供給は自治体の大きな責務である。水道関連施設の現状と今後の計画はどうなっているか。

施設の長寿命化の管理計画の策定中

町長 上水道施設は、

長沢の取水施設から昭和50年に供用を開始した。その後、平成30年に針生地内を水源とした新たな施設の供用も開始した。
今後は、水源を二つとする現状を維持していくことが有効である。水道経営を継続していくにあたり本年

度、上水道施設の長寿命化と費用の平準化を図りながら更新を進めていくために計画の策定を行っている。
持続可能な水道事業を実現するために、中長期的な視点に立った財政計画の検討を進めていく。



早期の再開が望まれる米坂線



町民体育館の 長寿命化の継続を

柴田伸也議員

早急な整備を求む

柴田 昭和54年10月に近代的な外観と内装、充実した設備を要した町民総合体育館が完成した。

以降、様々なスポーツ大会等で使用されてきた体育館も長い年月の間に傷みが激しくなり、耐震化工事や屋根外壁の工事が行われた。しかしアリーナの床や高齢者体育室の床など改善を要望する声も多い。安全で快適な施設として早期に改修を行う必要があるのではないか。

維持向上に取り組む

町長 平成30年度に町全体の公共スポーツ施設の在り方を検討した。町民体育館を計画的に改修しながら、長期間使用する施設と位置付けた。

令和元年度から昨年度まで総額4億17万円をかけ改修工事を実施し長寿命化を図った。アリーナの床の損傷箇所は応急的な措置をしたが、高齢者体育室の床の改修は高額な費用が見込まれることから今後の課題である。

柴田 高齢者体育室の床は将来的に張り替える計画はあるのか。

教育振興課長 どういった改修方法があるのか財源の確保を含め検討する。

柴田 アリーナの床は傷んでいる箇所が多くある。怪我をしてからでは遅いので早急な整備が必要ではないか。

教育振興課長 一番には安全を確保すること、危険が無いように処置をしている。床全

体をきれいにするには相当な費用がかかる。状況を確認しながら必要な場合は取り組みたい。

柴田 一階のラウンジをコミュニティの場として活用できないか。

町長 活性化させることは町にとって重要なことなので調査する。

柴田 優先順位をつけて早期の改修を望む。



改修が望まれる町民体育館

安心して暮らせる まちづくりの実現へ

わた なべ しげ のぶ
渡邊重信議員



丁寧な説明を

渡邊 小国町立病院の夜間救急の取り止めについて、町民に広く説明されていけない。今後どのように説明していくのか。

改めて座談会を計画中

町長 地域医療に関わる懇談会の開催を計画していたが、コロナウイルス感染症拡大で、やむなく延期とした。お問い合わせいただいたご意見をホームページに掲載している。今後は、町内各層、地区ごとの座談会を計画している。

今後の課題は

渡邊 夜間救急を取り止めてからの町民の不安も少なくない。災害時も含め今後の課題をどう考えているか。

病院事務長 消防小国分署との情報共有の強化に取り組む。

8月3日の災害で道路が寸断し開通までの3日間、夜間救急を受け入れた。

迂回路確保が課題

町長 課題は緊急時の迂回路。冬場の通行はできない。今後、要望活動に努めていく。

介護現場の体制づくりも喫緊の課題

渡邊 命を預かる仕事としても看護師同様に介護の現場は過酷である。今ある小国町の高齢者サービスを充実・継続するにも、人材確保は喫緊の課題ではないか。

介護初任者研修の支援もしている

町長 小国高校生や移住者への就労支援にも寄与している。看護師・介護士は全国的に不足している。

配偶者の転勤、移住者、Uターンなどの契機に資格取得の支援にも努めてきた。

渡邊 現在の介護サービス、施設の維持には官民一体の取り組みが必要ではないか。

町長 本町が全国に先駆けて取り組んでいる地域包括ケアシステムの構築を基本に据えて、保健・医療・福祉・介護が一体的なサービスとなるよう取り組んでいる。

渡邊 お年寄りが健康

令和5年度採用小国町職員募集要項 (追加・臨時募集)

職種	募集人員	受験資格
初級行政 (高校卒業程度以上)	若干名	平成4年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた人(令和5年3月高校卒業見込みの人を含む)
保健師	若干名	昭和52年4月1日以降に生まれた人 保健師資格取得者(本年度取得見込みの人を含む)
看護師	若干名	昭和47年4月1日以降に生まれた人で、交代勤務が可能な人 看護師資格取得者(本年度取得見込みの人を含む)
歯科衛生士	若干名	昭和47年4月1日以降に生まれた人 歯科衛生士資格取得者(本年度取得見込みの人を含む)

魅力的な募集要項を望む



有効活用されていない「ふれあい広場」

寿命を延ばすために、YUIとの連携もはかり、今ある施設も稼働させていかなければならない。



8月豪雨の被災状況と 復旧対策を聞く

小林 嘉 議員

集中豪雨の被災状況は

小林 8月3日から4日の豪雨に襲われ一時孤立状態に陥った。被災状況を聞きたい。

町民に人的被害がなく幸いであった

町長 被災状況の概略は「広報おぐに」9月号に特集している。

町民の方々に怪我等の人的被害がなかったことは幸いであった。町が孤立しないためにも、新潟山形南部連絡道路の早期実現に強力に取り組む。

復旧はどのように

小林 被害金額は甚大になることが予想されている。復旧対策は進捗しているのか。

国、県に要望活動中

町長 今回の豪雨被害は、町の所管施設はもとより、国、県、JR東日本等の管理施設などでも、多数確認されている。災害発生後直ちに、関係自治体と共に復旧に向け要望活動を行っている。

被害額は、8月末の集計で道路、農地、農業施設、下水道施設など26億円程度になりそうだ。通常の道路維持で対応する案件、国の災害復旧事業を活用する案件と分けて対応していく。

激甚災害指定の見込み

町長 激甚災害の地域に指定される見込みなので国の財政措置がよりに拡充される。復旧復興の道のりは長期化が避けられない。国や関係機関に強力に働きか

け、一刻も早い復旧に向け鋭意取り組む。

流雪溝用水の確保は

小林 流雪溝は冬の生活を支える「ライフライン」といっても過言ではない。今冬の流雪用水は確保できるか。

被災した井の下頭首口



使用時期に遅れないよう復旧に努める

町長 このたび被災した松岡合口頭首口、井の下頭首口、それぞれに努める。八木沢の取水施設は大きな石など撤去し冬季の使用に備える。横川から揚水している町の取水ポンプは被災しておらず、県の取水ポンプも使用時期に遅れないよう依頼している。



流出した用水路

わたし達もおぐに町民



プロフィール

米野 義一さん
 新原在住
 ● グランドゴルフ協会
 会長、元小国郵便局



プロフィール

小林 則夫さん
浩子さん
 杉沢在住
 ● 神奈川県から移住
 元東芝セラミックス

Q グランドゴルフ大会
 大変盛り上がりついでいま
 したね。

A 米野さん 今日
 は町長杯ゴルフ大会で賞品
 が出るので30名の参加
 で盛り上がりました。
 協会設立して、今年
 で20年目、会員は43名
 になりました。

小林夫妻 私たちも、皆
 さんに誘っていただき
 てゴルフ歴18年にな
 ります。(笑)
 毎週火、木、土、午
 後1時からの練習日に
 仲間と顔を合わせるの
 が一番の楽しみです。



ホールインワンチャレンジ

Q 小林さんご夫妻は小
 国町に移住して何年目
 ですか。

A 小林夫妻 杉沢に家
 を新築してから22年
 になりました。地域の皆
 さんや仲間の皆さんに
 恵まれ楽しく過ごして
 います。

Q 小国町の魅力は何で
 ですか。

A 小林則夫さん 自然
 が豊かで四季折々に楽
 しめること。また、大

きな地震が無さそうだ
 なのと思ったことが移住
 の決め手になりました。
小林浩子さん 厳冬の
 深夜、街灯に照らされ
 たダイヤモンドダスト
 は美しかったわ。魅力
 の一つになるね。

Q 議会や町に望むこと
 がありましたら。

A 米野さん これから
 もグランドゴルフの普
 及に努めますので応援
 してください。誰でも
 できる健康づくりのス
 ポーツなので、是非皆
 さんも参加して下さい。

小林夫妻 昨今の合理
 化・効率化に向けて進
 む社会にあつて、少し
 でも老人や弱者にやさ
 しい仕組みを残してほ
 しいと思います。
 (文責：小林 写真：渡邊)

次は12月定例会です。傍聴にお誘いいたします。

議会に対してのご質問、ご意見をお寄せください。

議会事務局 (62)2448

編集後記

令和4年8月は小国町に
 とつて生涯忘れてはならな
 い大事件が発生した。

一つは新型コロナウイルス
 の約3年間合計患者数3
 33例のうち、約半数の
 164例が1か月で罹患し
 ている。

二つ目は8月3日から4
 日にかけて記録的な豪雨に襲
 われ、8月末の被害額は、
 26億円を超える。

いずれも、早期の収束や
 復旧復興に向け、町、議会
 共に結集して取り組んでいく。
 小林(記)

発行責任者

議長 高野 健人

広聴広報常任委員会

委員長 小関 和好
 副委員長 伊藤 弘行
 委員 渡邊 重信
 柴田 伸也
 間宮 尚江
 小林 嘉

印刷 加藤印刷 ☎0238-62-2259